

●H22年度:筑後川源流の碑設置プロジェクト  
 除幕式:平成23年3月20日  
 場 所:飯田高原(タデ原湿原)

平成17年11月8日アフリカのウガンダで開催されたラムサール条約第10回締約国会議(COP9)にて、くじゅう塔ガツル・タデ原湿原が保全すべき重要な湿地として登録されました。

※山岳地に形成された水環境としては、国内外に類例を数えています。

ラムサール条約とは  
 「1971年にアフリカのラムサールで署名された」湿地及び灌漑地を含む自然遺産の保全に関する条約として、日本も条約の締結国として参加し、現在も条約に基づき保全活動を行っています。この条約に基づき、くじゅう塔ガツルとタデ原湿原は1995年12月1日に登録されました。

### くじゅうタデ原湿原

くじゅう塔ガツル・タデ原湿原の概要

名 称: くじゅう塔ガツル・タデ原湿原  
 所在地: 大分県日田市九重町大字田原の一部  
 大分県玖珠郡九重町大字田原の一部  
 面積: 91ha

自然環境

新 潟 県	その他	91ha
所 属 者 別	種別等 (種別等)	17ha
	森林林 (竹田市)	44ha
	私営林	30ha
湿 原	面積	
塔ガツル湿原 (竹田市)	53ha	
タデ原湿原 (九重町)	38ha	



**筑後川源流碑**  
 阿蘇くじゅう国立公園 長者原  
 九重町長 坂本和昭 書  
 建立:平成23年3月吉日

### 筑後川源流から143kmの旅

筑後川の水は恵みをもたらして、上・中・下流を潤し、そして有明海へ

筑後川は、全長143km。ここ阿蘇くじゅう国立公園の九重連山を源流のつぎとして筑後平野を貫流し、有明海に注ぎます。この偉大な筑後川は流域に暮らす多くの人や、生き物に、さまざまな恵みをもたらし、育んできました。わたしたちは、この筑後川の上流・中流域・下流域で育ち、人々の暮らしと自然をともに育んで、ここに築かれた碑を建てました。(平成23年3月吉日)



2011年(平成23年)3月21日 月曜日 筑後 18

配達の問い合わせ:  
 「はじめてのバースター」申し込みは  
 エリアグループ筑後0942(44)9555

筑後川源流の碑建立  
 大分県九重町 流域交流の象徴へ

大分県九重町野良 筑後川源流の碑建立  
 九重町長 坂本和昭 書  
 建立:平成23年3月吉日

大分県九重町野良 筑後川源流の碑建立  
 九重町長 坂本和昭 書  
 建立:平成23年3月吉日

- (参加者 57名)
- 福岡市:小中学生・保護者 6名
  - 朝倉市:小中学生・保護者 9名
  - 九重町:小学生、九重ふるさと自然学校 5名
  - 筑後川源流プロジェクト会議 37名





# 筑後川源流から143kmの旅

筑後川の水は恵みをのせて、上・中・下流を潤し、そして有明海へ

福岡市街

福岡市街の市民が、三割使っている水の3分の1が、筑後川の水です。福岡市民にとっても、筑後川は大切な川となっています。



三連水車／朝倉市

水車へ水を導く自動回転式水車です。300年前から朝倉の農業を支えてきた阿蘇産製穀で、今も回り続けています。

筑後川は、全長143km。ここ阿蘇くじゅう国立公園の九重連山を源流の一つとして筑後平野を貫流し、有明海に注ぎます。この豊かな筑後川は流域に暮らす多くの人々や、生き物に、さまざまな恵みをもたらし、育んできました。わたしたちは、この筑後川の上流域・中流域・下流域で暮らす人々が交流し源流をまもる象徴として、ここに源流の碑を建立しました。

(平成23年3月吉日)



くらそめの滝／九重町

落差7mですが、四季折々の表情が豊かて版を眺めには水鏡をみるすることができます。



有明海の家

有明海の家は、筑後川の豊かな恵みを受けて、6mの干満の差を利用して満潮時に興奮を溜め干潮時に旨味を押し込める方法で作られています。



昇開橋／大川市・佐賀市

昭和62年に完成となった佐賀橋の橋を利用し、少遊船として生まれかわった、貝島をつなぐ可動式の橋です。



耳納連山と菜の花／久留米市

圧倒的な存在感から屏風山と呼ばれています。春には菜の花が咲き乱れ、頂上からは筑後川の流れを望めます。



- ★日本の地質百選
- ★日本の百名山
- ★日本の棚田百選
- ★日本の滝百選
- ★数水百選
- ★ダム百選
- ★名水百選
- ★平成の名水百選